

# 塩狩峠

三浦光世 筆

塩狩記念館  
友の会会報第10号  
平成16年12月発行

九月十六日、漫才師の宮川大介・花子さんが塩狩峠記念館に訪れました。

二十九年、大介さんが花子さんと知り合ってから初めて「塩狩峠」だったことがきっかけで平成十二年に美深町での公演会の途中、塩狩峠記念館立ち寄りしていただきました。今年、町内の公演会で再度来町されると聞き、塩狩峠記念館友の会と交流をお願いしたのが実現したものです。

訪れた大介・花子さんと娘のさゆみさんは、駅構内や塩狩峠の標

## 宮川大介・花子さんと交流



また、早く友の会会員として登録していただきまし

識、長野政雄遺徳顕彰碑を考え込むように見つめた後、記念館内を眺め、「特別な場所という感じがする」「冬にも来てみたい」と話されていました。また、早く友の会会員として登録していただきまし



初めてお会いしました。その人その人よ、いふ人思いを感じれる場所です。私もいつか子供か、お連れたいです。又会えり日を。 See you soon. Sugiyama, M.



### 恐るべし、台風

十月八日、五十年ぶりに北海道を襲った大型風台風十八号は、塩狩峠記念館にも大きな爪あとを残しました。

紅葉になり始めていた木々は、葉が落ち、小枝が散乱、記念館周りの大木も3本折れるなど被害の甚大さを物語る状況でした。特に、除幕式から長野政雄遺徳顕彰碑を傍で見守ってきた赤松が折れてしまったのは、残念ではありません。

### 原点に返り「塩狩峠」視聴

十月十六日(土)塩狩峠記念館友の会の研修事業として、映画「塩狩峠」の上映会を行ないました。

平成十三年五月に友の会が設立されてから三年目、映画を見た参加者七名は、改めて、知恵を出し合いながら、安らぎのある記念館づくりをめざしていいことと意を強くしたところです。

また、塩狩峠記念館は、十一月末日で閉館となりましたので、十二月一日には、友の会会員五名が冬囲い・看板類の撤去作業を行い、厳しい冬の訪れに備えました。

### 塩狩峠記念館 来館者数が 今年11月で 7万人突破

平成11年5月からの累計

### 三浦綾子読書会 全国大会が塩狩 峠記念館で開催

九月二十二日～二十五日の四日間、三浦綾子読書会(長谷川与志充代表)の全国大会が本町の塩狩峠記念館等で開催されました。

三浦綾子読書会は、二〇〇一年七月に東京でスタートしており、現在では会員が百名を超えています。読書会、朗読、ツアー、ピデオなど部門ごとに全国各地で活動が行われていますが、全国大会は今回が初めての開催です。

三浦綾子さんのふるさと旭川市に近く、代表的な小説「塩狩峠」の舞台にもなったことから本町で開催されたものです。

読書会の好意により、友の会会員十名も二十三日の講演会に参加させていただきます。



トマトジュースやコーヒ一片手に休憩中!

午前中は、三浦綾子さんの初代秘書である宮島裕子さんから、「三浦さんは、人の長所を見つめる目を持った人。常に質素に暮らされていた。」など綾子さんの人間像について、長谷川与志充読書会代表から「三浦綾子さんが残したものの」と題し、「三浦綾子さんのやさしさや周辺に居た人々との関わりが私には遺書と思える」と講演を受けました。

午後は、森下辰衛福岡女学院大学助教授から、永野信夫さんと長野政雄さんを比較した年表を利用し、「人間がいかに生きるかの理想文学となっている。」と塩狩峠の内容について、三浦光世さんから塩狩峠の創作秘話など大変な話があるが、有意義な一日を過ごしました。

また、全国から訪れた約四十名の参加者に地元の名産を提供しようとして友の会で用意したトマトジュースなどの飲み物やカボチャ団子は、「美味しい」と大変好評を得ていました。

# 来館者の声

## 記念館ノートから

塩狩峠記念館に設置している《来館者ノート》には多くの方から感想が寄せられています。今回はその中からほんの一部ですが、9月～11月に記載された分をご紹介します。（お名前は省略致しました。）

一度は行ってみたいと思っていた塩狩峠・・・今日このときやっと実現しました。小説に登場する永野さんの直属の上司であり、彼の死を家族に伝えるに行った人（小説では和倉さん）が私の祖父でした。

祖父はその時以来信仰を持ち、鉄道に聖書研究会を開いたと聞いています。そして、私の父も私も子ども達もクリスチャンとなりました。一粒の麦となった長野さんの死と生き様により、祖父が信仰へと導かれ、息子である私の父も信仰を持ち、そして私たちへと・・・。本当にすばらしい証詞だと思っています。

塩狩の駅に立ち、また、その周辺を歩きながら、なぜか胸が熱くなり、涙がこみ上げました。長野さんの信仰から来る愛、殉職、そして祖父が共に生きたこの場所だからでしょう。

北海道は遠いので、もう一度旅行できるかどうか分かりません。今日のこの時は私にとって素晴らしい記念日となりました。

（東京都）

中学時代、担任に勧められて読んだのが「塩狩峠」でした。当時、敬虔なクリスチャンだとか、社会的背景だとか一切わからぬままに、ただ人徳のようなものに感動した記憶があります。この記念館へ来て、何か大きなものに触れたように思いました。

帰ったら、もう一度三浦作品を紐解いてみようと思います。

（埼玉県）

三浦綾子さんの本に出会ったのは、塩狩峠がきっかけです。その後氷点や他の作品も読みました。作品を読んでいると、しだいにその舞台になっている場所を見てみたくなりました。

去年は外国樹見本林、そして今年はやっとここに来れました。これからも色々な作品を読もうと思います。

また来ました！雪が舞い、静かなひととき・・・。塩狩のこの静けさが私の心をなごませてくれます。さまざまな疲れも癒されます。

（千葉県）

今から6年前、当時中学3年生であった私は、三浦綾子さんの「塩狩峠」を読んで、非常に感動しました。それから私は三浦さんの本を読みあさるようになりました。この度北海道に来た折に塩狩峠にこれてよかったです。

（東京都）

## 塩狩峠記念館友の会

### 会員を募集中！

参加条件は問いません！  
お申し込み・問い合わせはこちらまで！  
会費は300円

「塩狩峠記念館友の会事務局」

〒098-0192

上川郡和寒町字西町120番地  
和寒町役場産業振興課

TEL 016532-2421

FAX 016532-4238

## 友の会リレートーク 峠の呟き

小説の舞台となった「塩狩峠」  
懐かしい思い出がある。

JR（旧国鉄）に冬場のアルバイトに行った。仕事は、蒸気機関車の「石炭掻き」だ。当時の塩狩峠は、難所であつたらしい。蘭留駅で後続車両にもう一台を連結、あえぎながら和寒駅まで。その姿はたくましく勇壮だった。

乗客の中には、行商の姿、薬屋さん、乾物を背にしている人、様々である。この様な人々が、各地の情報をもつて和寒の地で話の輪が広がったのだろう。

今日のインターネットや携帯電話が、なにかしら不思議な文化に思えてしまう。私は変人なのだろうか。

和寒町字菊野 鷲見唯男